

## 1 研究目的、研究方法など

本研究計画調書は、「審査希望分野」（公募要領 2 4 頁参照）で審査されます。記述に当たっては、「科学研究費助成事業における審査及び評価に関する規程」（公募要領 1 4 頁参照）を参考にすること。

本研究の目的と方法などについて、6 頁以内で記述すること。

冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述し、本文には、(1)本研究の学術的背景、研究課題の核心をなす学術的「問い」、(2)本研究の目的及び学術的独自性と創造性、(3) 本研究の着想に至った経緯や、関連する国内外の研究動向と本研究の位置づけ、(4)本研究で何をどのように、どこまで明らかにしようとするのか、(5)本研究の目的を達成するための準備状況、について具体的かつ明確に記述すること。

### （概要）

本研究の目的は、象の卵を発見して、象の卵生を証明することである。進化論的には、象は卵を産む方が自然である。

世界の動物園や、アフリカ、インドで空と陸の両面から多角的に探索を行う。象の卵を発見した場合は、その形状の測定、材質の解析、工学的応用の可能性の検討を行う。

### （本文）

―― ※留意事項 ―――

#### 研究計画調書作成に当たって留意すること

―― ※留意事項① ―――

1. 帰国発展研究は広い分野の委員構成で多角的視点から審査が行われることに留意の上、研究計画調書を作成すること。

―― ※留意事項② ―――

1. 作成に当たっては、研究計画調書作成・記入要領を必ず確認すること。
2. 本文は 11 ポイント以上の大きさの文字等を使用すること。
3. 各頁の上部のタイトルと指示書きは動かさないこと。
4. 指示書きで定められた頁数は超えないこと。なお、空白の頁が生じても削除しないこと。

本留意事項の内容を十分に確認し、研究計画調書の作成時には本留意事項を削除すること。

(\JSPSInstructionsなどを消す)

――

\*\*\* 以下は、あくまで例です。真似しないでください。 \*\*\*

\*\*\* 本文はもちろん、節の切り方や論理の組み方は \*\*\*

\*\*\* ご自分の気に入ったスタイルで書いてください。 \*\*\*

### 1.1 なぜ象は卵を産むはずか

今まで、哺乳類である象は卵を産まないとされてきた。しかし、哺乳類の定義は乳を与える動物のことであり、必ずしも胎盤を持ち母親の体内で成長させる動物であるとは限らない。たとえばカモノハシは卵を産むし、カンガルーは体外の袋の中で新生児を育てる。哺乳類の動物が胎生か卵胎生か卵生かは、進化上の分類よりもむしろ、生活の環境によって決まる。象のように大きく強い動物の場合、重たい象の胎児を運ぶよりは、卵を産んでその重さから解放される方が楽である。また卵が大きく硬い殻でできていれば、他の動物に取られたり食べられたりする恐れもない。さらに食物を求めて象の群れが移動するときも、長い鼻で丸い卵を転がして行った方が、胎

## 【1 研究目的、研究方法など（つづき）】

児を持ち運ぶよりエネルギー効率が高い。（恐竜も卵を産んだが、長い鼻を持たず、車輪を考案するだけの脳を持たなかったため、巣を作った）こうした点から、象は卵を産む方が進化論的に自然である。

### 1.2 象など大型哺乳類の卵は今まで見つかってないのか

寺村輝夫の研究 [1] によれば、昔、王子の誕生を祝って国民全員に卵焼きを提供すべく、軍隊を動員して象の卵を探させた王がいた。このときは孵化直後の子象は見つかったが、それが入っていた殻の発見には至っていない。

また、私は今まで地球上で最大の哺乳類であるシロナガスクジラの卵の探索を行ってきた。まだ発見には至っていないが、海水単位体積あたりの存在確率の上限値を与えた（私の業績リストの中の [1]）。

### 1.3 今こそ、枠を越えた自由な発想を

今まで、我々研究者は分野や古い学説など様々な枠にとらわれてきた。しかし今や、科研費の書類では全体を囲む枠が取り払われたのみならず、研究目的、背景、方法などの間の枠も取り除かれた。これにより我々研究者は、自分の主張を、細切れにされることなく、自分の論理的な道筋に従って書類に書ける自由を得た。しかし逆に言えば、一目で数ページの中のどこに何が書いてあるのかわかる文章を書くことが重要である。そのためには、論文など論理的な文章を書くときに使い慣れた  $\text{\LaTeX}$  を用いるのが楽である。

書類の枠から解放された今、象＝胎生 という常識の枠からも我々は解放され、より **自由な発想** をするべきである。

ん?? この研究の目的が何か、どこでも言っていないぞ。。

### 1.4 どうやって探すか

予算と時間は限られているため、確率と効率を考慮し、次のような順序で象の卵を探索する。

1. 逢坂北部のある終点駅の駅前では、毎年年末になると図 1、図 2 に示すようにコンクリートでできた象の卵の像のまわりを電飾するしきたりが残っている。（少し寄り目にし、右目で左の図、左目で右の図を見てください。なお、このように図や表を横に並べる方が、`wrapfigure` を用いるより位置の調整が楽です。）まずは超音波を使い、このコンクリートの内側に化石化した象の卵が実は隠されていないか、調査する。



図 1: 右目用



図 2: 左目用



【1 研究目的、研究方法など（つづき）】

[illegible]

【1 研究目的、研究方法など（つづき）】

[illegible]

【1 研究目的、研究方法など（つづき）】

[illegible]

## 参考文献

- [1] 寺村輝夫、「ぼくは王様 - ぞうのたまごのたまごやき」.
- [2] マリー・ホール・エッツ、「もりのなか」.



2 応募者の研究遂行能力

応募者（研究代表者）の研究計画の実行可能性を示すため、これまでの研究活動について2頁以内で記述すること。  
研究活動を中断していた期間がある場合にはその説明などを含めてもよい。

―― ※留意事項 ―――

- 1. 研究業績（論文、著書、産業財産権、招待講演等）は、網羅的に記載するのではなく、本研究計画の実行可能性を説明する上で、その根拠となる文献等の主要なものを適宜記載すること。
- 2. 研究業績の記述に当たっては、当該研究業績を同定するに十分な情報を記載すること。  
例として、学術論文の場合は論文名、著者名、掲載誌名、巻号や頁等、発表年（西暦）、著書の場合はその書誌情報、など。
- 3. 論文は、既に掲載されているもの又は掲載が確定しているものに限って記載すること。

なお、令和2（2020）年度公募より、「ポストドクター」という身分であっても本種目の趣旨に合致する場合には応募可能としたことに伴い、本欄には、海外の研究機関等において「独立した研究者」として研究活動を行っていることがわかる内容を含め記載するようにすること。

本留意事項の内容を十分に確認し、研究計画調書の作成時には本留意事項を削除すること。

(\PapersInstructionsなどを消す)

――

応募者は過去20年間、7つの海を隅から隅まで航海し、浅瀬から深海まで潜り、文字通り東西南北上下の3次元でシロナガスクジラの卵の探索を行ってきた（業績1）。シロナガスクジラに飲み込まれそうになったり、海賊に捕まるなどの危険な目にもあったが、それにもめげず、研究を遂行してきた強靱な能力を有する。

シロナガスクジラの卵を探すために用いていたソナーと双眼鏡、及びシロナガスクジラの卵を引き上げるために用意していた大きな網は、そのまま使える。

- 1. “Search for whale eggs”, H. Yukawa *et al.*, Rev. Oceanic Mysteries **888**, 99 (2017).
- 2. “Theory of Elephant Eggs”, H. Yukawa, Kara Juzo *et al.*, Phys. Rev. Lett. **800**, 800-804 (2005).
- 3. “仔象は死んだ”, Kobo Abe, 安部公房全集 **26**, 100-200 (2004).
- 4. “The Elephant’s Child (象の鼻はなぜ長い)”, R. Kipling, Nature **999**, 777-799 (2003).
- 5. “You can’t Lay an Egg If You’re an Elephant”, F. Ehrlich, JofUR (www.universalrejection.org) **N/A**, 2002 ( ).
- 6. “Egg of Elephant-Bird”, A. Cooper, Nature, **409**, 704-707 (2001).
- 7. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
- 8. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
- 9. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
- 10. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
- 11. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).

【2 応募者の研究遂行能力（つづき）】

12. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
13. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
14. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
15. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
16. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
17. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
18. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
19. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
20. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
21. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
22. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
23. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
24. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
25. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
26. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
27. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
28. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
29. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
30. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
31. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
32. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
33. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
34. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).



### 3 人権の保護及び法令等の遵守への対応（公募要領3頁参照）

本研究を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など指針・法令等（国際共同研究を行う国・地域の指針・法令等を含む）に基づく手続が必要な研究が含まれている場合、講じる対策と措置を、1頁以内で記述すること。

個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査・行動調査（個人履歴・映像を含む）、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となる。

該当しない場合には、その旨記述すること。

象の卵のES細胞の培養、象のクローンの生成などは行わない。象個体を現地から持ち出すことはない、ワシントン条約ならびに生物多様性条約に抵触しない。また、組換え実験は行わないので、カルタヘナ議定書にも抵触しない。

#### 3.1 ついでに L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X の便利な機能

##### 3.1.1 節

通常通り `\subsection`, `\subsubsection` などが使えます。番号は自動的につきます。

##### 番号なし節

`\subsubsection*` のように\* 付きを使うと、節の番号がつきません。

##### 3.1.2 コメント文

L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X では当たり前ですが、今はとりあえず消すけど使う可能性のある文章は、消さずに行の頭に % をつけてコメントアウトすると、後で復活できます。TeXShop や TeXWorks では、複数行選んでまとめてコメントにしたりコメントから外したりできます。

##### 3.1.3 編集用の行番号

`lineno` というパッケージを使えば、`\linenumbers` と `\nolinenumbers` の間の行に行番号が振られます。これは編集時に他の人からコメントをもらうときに便利です。

最終版の PDF を作る前に、行番号は消してください。

##### 3.1.4 編集用の欄外のメモ

`\memo` を使うと右の例のように、欄外にメモを書けます。

最終版の PDF を作る前に、L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X ソースファイルの 60 行目付近にある指示に従って、`\memo` を無効化してください。

欄外メモ  
だよ

【令和 4 (2022) 年度 国際共同研究加速基金（帰国発展研究）研究者調書】

研究者	(ふりがな) 氏 名	(ゆかわ ひでき) 湯川秀樹	生年月日 (年齢)	(西暦) 1900 年 2 月 29 日 (139 歳)
	所属研究機関 ・ 部局 ・ 職	NASA, Senior Researcher		
	学位	理学博士	現在の専門	原始殻実験
	外国機関の所属年数（日本の研究機関との兼務除く）			70 年

(職歴)

- 1947 NASA (Nature And Science Ardentness) Research Associate
- 1957 NASA Junior Researcher
- 1997 NASA Senior Researcher

(現在の所属・職において独立して行っている研究活動状況及び海外における研究歴)

―― ※留意事項 ―――

1. 現在の所属・職における研究活動について、独立して研究を行っていることが分かるように記入すること。
2. 海外の研究機関におけるこれまでの特筆すべき研究活動及びその成果等についても記入すること。特に、海外の研究機関において、応募者が自らの責任で自由に使用できる研究費を獲得している場合には、主な獲得実績 (資金制度・研究費名、研究期間、研究課題名、期間全体の研究経費の額等) について必ず記入すること。

本留意事項の内容を十分に確認し、研究計画調書の作成時には本留意事項を削除すること。  
(\kikokuInstructionsなどを消す)

――

今までは、地球上で最大の生物、シロナガスクジラの卵の研究を進めようとしてきた。クジラの卵の場合は、高い水圧に耐える必要があるため、堅固の構造となっているはずであり、これが解明されれば、将来、深海潜水艇への応用も効く。しかし、シロナガスクジラの生息範囲が広い、海に潜っている時間が長い、生息数も減っている、などの原因により、卵を見つけることができなかった。そこで、地球で最大の動物から、地上で最大の動物に研究対象を変更する。